

(公社) 奈良県放射線技師会 学術大会 2021

会員研究発表 演題募集のお知らせ

日時：2021年10月24日(日)

場所：奈良県社会福祉総合センター
オンライン開催予定(オンデマンドあり)

【大会テーマ】

『奈良県の救命救急医療の現状 ～ 今を知りどう動くか ～』

近年、高齢化の進展、住民の意識の変化等の社会情勢の変化により、救急利用が増加・多様化している。本県においても救急搬送される患者数は年々増加傾向にあり、救急搬送に要する時間が増え、救命や後遺症の有無に影響を与えかねない状況となっている。救急医療では、重症度・緊急度に応じた医療をスピーディーに提供することが求められている中、問題点が多く存在する。救急医療機関のスタッフ不足もその一つである。また我々の関係する画像診断検査においても、医師・看護師不足から診療放射線技師が一人で検査を行なっている施設もある。さらに救急医療では、各職種が担う業務内容においても数々のグレーゾーンがあり、医療安全面において問題視されている。

このような現状を把握・共有し、多職種間の考えや意識する部分をディスカッションすることで救急医療におけるチーム医療を考える機会としたい。

※ 開催方法について ※

新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン開催(オンデマンド配信)を予定しております。

開催方法は変更の可能性があります、詳細が決定しましたら改めてご案内させていただきます。

皆様にはご迷惑をおかけしますが何卒ご理解ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

会員研究発表	<p>救命救急医療に関する演題、それ以外の分野の研究発表でも構いません。各施設の日常業務の様々な工夫や研鑽を是非ご発表いただき、診療放射線技師の未来に繋がる時間を共に過ごしましょう。</p> <p>学術発表を経験されたい方、もっと経験を積みたい方もこの機会に是非チャレンジしてみませんか？ 皆様からの演題を心よりお待ちしております。</p>
演題募集期間	<p>2021年7月1日～2021年8月31日</p>
発表形式	<p>口述発表（プレゼンテーション7分）詳細は後日、お知らせ致します。</p>
応募資格	<p>技師会会員（但し、2020年度奈放技・日放技会費完納者） 入会手続き中の方も発表可</p>
演題区分	<p>「撮影技術」「機器管理」「接遇」「医療安全」「救急医療の現状と体制」 「被ばく管理」「線量管理システム導入に向けた取り組み」等</p>
応募方法	<p>下記の奈良県放射線技師会のホームページにアクセスし、抄録フォーマットをダウンロードしてご記入ください。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <input style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;" type="text" value="奈良県放射線技師会"/> <input style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-left: 10px;" type="button" value="検索"/> </div> <p>http://www.rokuen.jp/login/login.html</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フォーマットに従って必要事項を明記して下さい。 2. フォーマットの書式、フォント(MS 明朝)およびフォントサイズは変更しないでください。図表を使用しないでください。数字は半角でご記入ください。 3. 抄録本文は800字までとします。 4. フォーマットを発表者本人が連絡可能なPCアドレスから送付してください。 5. 演題の採否は学術委員会にて行い、募集期間終了後メールにて通知いたします。
利益相反の開示について	<p>産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表者に「利益相反 (Conflict Of Interest ; COI) の開示を求めます。</p>
研究の倫理面に関する注意事項	<p>研究の倫理面に関する注意事項について 応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。また人間を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です</p>
著作権に関する注意事項	<p>演題登録に入力された個人情報は奈良県放射線技師会学術大会 2021 運営の目的以外で使用することはありません。また、スライド作成にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題の生じないよう十分に配慮してください。問題が生じた場合、発表者自身が責任を問われることがあるので、注意してください。</p>
送付先	<p>学術委員長 野儀 明宏 nogi@rokuen.jp</p>